

ひらんだ駅

かわね



平成2年(1990)、長島ダム建設による路線付け替えで誕生した駅です。駅前には国体・カヌー競技の会場にもなった「奥大井接岨湖カヌー競技場」が広がります。ここは長島ダム・接岨湖の一部で、「カヌーの町・川根本町」を象徴する場所。普段は地元・川根高校のカヌー部が練習に使っていますが、最近はカヤックや釣りを楽しむレジャー客も増え、地域に開かれたダムとして親しまれています。

カヤックで廃トンネルの中へ!!

ひらんだ駅前のカヌー競技場からスタートして上流へ。接岨湖には旧井川線の線路やトンネルが眠っています。水位が低いと線路とトンネルが姿を現し、水位が高くなると姿を消してしまいます。カヤックに乗ってトンネルをくぐるのは運だ!!?昔列車が通っていた場所をカヤックで進むなんて、とても不思議で貴重な体験です。



いかわねの
おすすめスポット

かわねこやま 川根小山駅

かわね



川根小山駅は千頭駅から5.8kmの地点にあり、一日の平均乗降客3人の無人駅です。川根小山駅から徒歩10分の小山トンネル付近には大井川の穿入蛇行を見ることができます。右も左も大井川、通称「牛の頸」(ぎやーのくび)といい、両者の距離がわずか50mで標高差が25mあります。大井川流域は、世界的に見ても隆起が激しい地帯であるため、このような蛇行が作られます。

大井川の歴史を凝縮

川根小山駅から徒歩5分のところには「牛の頸」の地形を活かして、明治43年に日英水電によって作られた小山発電所跡があります。大井川水系初の発電所で、昭和11年まで島田、浜松方面に送電していました。近辺には、貯水池跡、旧井川線のトンネル、小山の吊橋の先に、発電所建設の構想を進めた鈴木久一郎翁の記念碑があり、ちょっとした散策におすすめです。



いかわねの
おすすめスポット

エンジンに乗って通学!?

あぶとラインはディーゼルエンジンで走っているため、地元住民から「エンジン」の愛称で親しまれています。7、8年前までは「エンジン」に乗って通学する学生もいて、沿線住民の暮らしを支えてくれました。



あぶとラインがつなぐ いかわねの暮らし

南アルプスあぶとライン(大井川鐵道井川線)には、千頭から井川まで、14の駅があります。憩いのスポットとして整備された大樽公園のある「長島ダム駅」、絶景を楽しむことができる「奥大井湖上駅」、若返りの湯と呼ばれる名湯がある「接岨峡温泉駅」などが観光地として有名ですが、ひとつひとつの駅に、その地域ならではの暮らし、スポットなど、魅力がたくさんあります。途中下車もまた、あぶとラインの楽しみ方のひとつです。

かんぞう 閑蔵駅

いかわ



閑蔵分校跡

あぶとラインでは井川の玄関口となる駅です。「かんぞう・甘草・甘蔵・神増」と表記は様々ですが、寛文2年(1662)には集落の名が記録に記されています。鉄道ができて道路が整備される前までは、山道を2時間かけて井川の本村まで歩いてきたとか。川根と井川を結ぶ県道の新接岨大橋からは、井川の奥へと続く深い山々と、かつて川狩りが行われていた大井川がゆっくりと流れる様子が一望できます。

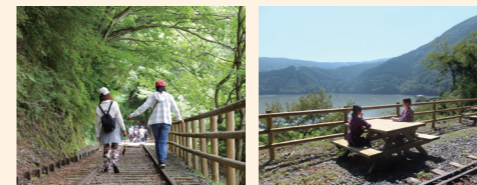
思い出の閑蔵分校

駅から県道を横切って真直ぐ下ると昭和34年まで開校されていた閑蔵分校があります。「小さい学校だけど和気あいあいとして楽しかったよ。運動会には村の人も来てくれて、家で採れた野菜を賞品にしてね。」と、学校というよりは集落の人々と共にある集会場のような場所だったとか。今では、カエルやイモリ、夏の夜には虫も飛び交う昆虫たちの憩いの場となっています。

いかわねの
おすすめスポット



終着駅の先にある廃線小路



井川駅から少し歩いて井川ダムの中部電力井川展示館を過ぎると、廃線となった線路が見えてきます。井川ダム建設当時の資材搬入駅(旧堂平駅)へと続く廃線が遊歩道に整備され、線路の上を歩く、ちょっとした冒険が楽しめます。廃線から見る井川湖の景色は最高です。

やまじゅう

駅から県道に向い徒歩30秒。「お休み処手打ちそば」の看板通り、自家栽培、自家製粉の手打ちそばを食べながらゆっくりと会話を楽しめるお食事処。昔から大切に作り続けている在来雑穀の味が楽しめるきび団子や「ほもろこし」の柏餅が大好評!自家栽培の麦でつくる趣味噌は遠方客のファンも多いとか。

連絡先 静岡市葵区井川2177
電話054-260-2458



いかわねの
グルメ情報